

第11回リンガーハットカップ 長崎県ジュニアサッカー大会 開催要項

- 1 趣 旨 一般社団法人長崎県サッカー協会は、日本の将来をになう子供たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の発育・発達を図ることを目的としたリンガーハットカップ長崎県ジュニアサッカー大会を開催する。
この大会は、子供たちがサッカーを通じて心身を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指すものである。
- 2 名 称 第11回リンガーハットカップ長崎県ジュニアサッカー大会
- 3 主 催 一般社団法人長崎県サッカー協会
- 4 主 管 一般社団法人長崎県サッカー協会第4種委員会/女子委員会
佐世保市サッカー協会/平戸市サッカー協会/北松浦郡サッカー協会
- 5 後 援 長崎県教育委員会/公益財団法人長崎県体育協会/長崎新聞社/NIB 長崎国際テレビ
- 6 協 賛 株式会社リンガーハット
- 7 期 日 令和元年12月7日(土)/8日(日)/15日(日)
*予備日：令和元年12月22日(日)
- 8 会 場 【男子の部】
小佐々中央運動広場/平戸市総合運動公園ライフカントリー
【女子の部】
サンビレッジ佐々/小佐々中央運動広場/平戸市総合運動公園ライフカントリー
- 9 開 会 式 小佐々海洋センター体育館 9:00～
- 10 閉 会 式 平戸市総合運動公園ライフカントリー
令和元年12月15日(日) 午後3:00～予定
- 11 参加資格
【男子の部・女子の部共通】
(1)「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)並びに選手であること。ただし、男子の部は、5年生以下で編成されたチー

ムとする。女子の部は、加盟チーム又は継続的に活動している選抜チーム等とする。

- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- (4) チーム構成は、選手16名、引率指導者6名以内とする。
- (5) 郡市予選から県大会に至るまで、同一加盟チームからの複数エントリーを可とする。なお、各郡市予選の開催にあたって同一チームの複数エントリーの可否については、郡市協会の判断による。
- (6) 郡市予選から県大会に至るまでに、同一「参加選手」が、異なる「加盟チーム」への移籍後再び参加することはできない。
- (7) 「参加チーム」及び「参加選手」は、郡市予選を勝ち抜いたチーム・選手又は郡市協会が推薦するチームであること。当該チームの郡市大会への登録選手数が16名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。ただし、参加選手の変更については、傷病を理由とする場合に認められ、申請の際に医師が発行する診断書を添えて提出しなければならない。また、大会チーム登録以降の選手の追加登録はできない。
- (8) 「参加選手」は、公益財団法人日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証（カードの選手証または電子選手証）を大会当日持参すること。ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。
 - * 電子選手証とは、本協会WEB登録システム「KICK OFF」から出力した選手証を印刷したものの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (9) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。
- (10) 「参加選手」は健康であり、かつ保護者の同意を得ること。
- (11) 「参加チーム」は、必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
- (12) 育成期における女子サッカー普及のため、各郡市予選において男子チームの選手として参加した場合でも特例で女子の部への参加を認める。ただし、本大会において重複して登録することはできない。

12 試合方法

【男子の部】

- (1) 大会1日目は、32チームを8グループに分け、1グループ4チームの予選リーグ戦を行い、グループの順位を決定する。順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3点 引分け1点 負け0点 とする。ただし、勝点と同じ場合には、当該チームの対戦結果・得失点差・総得点数・抽選の順序により順位を決定する。
- (2) 大会2日目以降は、各グループ1位、2位による決勝トーナメントを行い順位決定する。また、勝敗が決しない場合はすべて10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、それでも決しない場合にはペナルティーキック方式（3人ずつ）により次回進出を決定する。

【女子の部】

- (1) 大会1日目及び2日目は、10チームを2グループに分け、1グループ5チームの予選リーグ戦を行い、グループの順位を決定する。順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3点 引分け1点 負け0点 とする。ただし、勝点と同じ場合には、当該チームの対戦結果・得失点差・総得点数・抽選の順序により順位を決定する。
- (2) 大会3日目は、各グループ1位による決勝戦を行う。また、勝敗が決しない場合はすべて10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、それでも決しない場合にはペナルティーキック方式（3人ずつ）により勝敗を決定する。

13 競技規則

- (1) 日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。

(2) 競技のフィールド

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m×幅（ゴールライン）50m

ペナルティエリア：12m

ペナルティマーク：8m

ペナルティアークの半径：7m

ゴールエリア：4m

センターサークルの半径：7m

ゴールポスト 少年用

(3) ボール

試合球は、4号検定球（(株)モルテンより提供）とし、本部で用意する。

(4) 競技者の数及びベンチ入りできる引率指導者の数

競技者の数：8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中にケガ等による人数不足により8名に満たなくなった場合にはそのまま続行する。）

交代を行うことができる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

ベンチ入りできる引率指導者の数：2名以上3名以内とする。

(5) 競技者の用具・ユニホーム

ユニホームは正副必ず2着用意すること。

(6) 試合時間

男子の部の試合時間は、予選リーグ30分（前後半15分）とし、決勝トーナメント40分（前後半20分）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、5分間とする。

女子の部の試合時間は、40分（前後半20分）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、5分間とする。

(7) グリーンカードを積極的に導入する。

(8) 本大会中警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(9) 本大会中に退場させられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については、本

大会の規律委員会で決定する。

(10) 審判員

大会1日目の予選リーグについては、1人の主審と1人の補助審判員で行う。

大会2日目以降の決勝トーナメントについては、1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。

- (11) 大会時の傷害事故についての応急処置は主催者にて行うが、事後については参加チームの責任にて行うこと。

14 表 彰

- (1) 優勝チームには、賞状とカップを授与する。
- (2) 準優勝チームには、賞状と盾を授与する。
- (3) 第3位チームには、賞状を授与する。
- (4) 本大会の優秀選手（8名）には、賞状と記念品を授与する。

15 帯同審判

帯同審判員制となっておりますので、必ず審判服・ワッペン及び公益財団法人日本サッカー協会の発行した審判証を持参すること。

16 その他

- (1) 男子の部の上位2チームは、令和2年3月20日(金)～22日(日)に沖縄県で開催される「JA全農杯チビリンピック 2020 小学生8人制サッカー大会 in 九州 兼 第26回九州ジュニア(U-11)サッカー大会 in 沖縄」の九州大会への出場権を与える
- (2) 大会に関する一連の諸行事(代表者会議・開会式・MCM・試合)等にチーム代表者及びチームが指定された時間等に遅れた場合は、大会出場を棄権とみなしチームの大会への出場を没収試合とする場合がある。この場合の勝敗は、3対0の負けとする(ただし、災害など天災等の場合はその限りではない。)